

3. 具体的な活動事例

民生委員・児童委員活動の7つのはたらき

- ① 門真市民生委員児童委員協議会（以下、民児協）では、「声かけ」「安否確認」「災害時要援護者調査」などの活動を通して住民の実態や福祉ニーズを日常的に把握しています。（社会調査のはたらき）
- ② 民生委員・児童委員のAさんは、ある障がい者宅を訪問したとき、家族から「自宅で介護を続けたいが、心身ともに疲労しているので何とかしたい」と相談があり、ゆっくり話を聞きました。（相談のはたらき）
- ③ Aさんは、在宅介護をしたいという家族の希望に応じて、ホームヘルプサービスやデイサービスなどの在宅サービスについての情報を提供しました。（情報提供のはたらき）
- ④ 近所の人から「Bさん宅の様子がおかしい」と聞いたAさんは、Bさん宅を訪問したところ、子どもの怯えた大きな泣き声が聞こえ、児童虐待の可能性があるかと判断して子ども家庭センターへ通報しました。（連絡通報のはたらき）
- ⑤ 介護保険を受けているCさんから、介護保険にはない大掃除やふとんの洗濯・乾燥などのサービスについて相談を受け、適切なサービスが提供されるよう関係機関との調整をしました。（調整のはたらき）
- ⑥ 引っ越してきたばかりで近所づきあいのないDさんは、1歳と3歳の子どもを抱えて引きこもりがちでした。そこで、母親同士が知り合い、気軽に集える場をつくろうと、民児協が中心となって子育てサロンを立ち上げました。今ではDさんも子育ての悩みや喜びを分かち合える友人ができ、外で出会って明るく挨拶してくれます。（生活支援のはたらき）
- ⑦ 認知症の父親と同居するEさんは、仕事と介護の両立で忙しい毎日を過ごしていましたが、ある日、父親が急にいなくなり、一晩中探し回って大変な思いをしました。それ以来、父親のことが不安で仕事に手につかないと相談を受けたAさんは、認知症高齢者の徘徊を地域で見守るネットワークの必要性について、市と話し合いました。（意見具申のはたらき）

民生委員・児童委員活動
「7つのはたらき」



①社会調査のはたらき

②相談のはたらき

③情報提供のはたらき

④連絡通報のはたらき

⑤調整のはたらき

⑥生活支援のはたらき

⑦意見具申のはたらき

▲その他の活動事例

民児協では未就学児の親子を対象とした、**子育てサロン**や**親子人形劇**、ひとり暮らし高齢者との**ふれあい食事会**や地域での**餅つき大会**や**お花見会の実施**など地域のみなさんとの交流を盛んに行っています。また、ひとり暮らし高齢者のために、小学生に作成してもらった**年賀はがきを送ったり**、**親子クリスマス会**を開催するなど季節に合わせたイベントなどもおこなっています。また、多くの高齢者が暮らす門真市で、安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、次のような取り組みもおこなっています。



いきいきサロン喫茶の様子（沖地区）

「救急医療情報キット」の配付

緊急連絡先やかかりつけの医療機関、持病などの情報を記入し、万一の時に備える「救急医療情報キット」（市事業）と、災害時等における要援護者の把握を目的とした「災害時安否確認及び緊急時連絡先調査」（民児協事業）を合同で3年に一度実施しています。



キットは専用のケースに入れて冷蔵庫に保管

キットの新規申請、情報更新のため、市から提供する名簿をもとに民生委員・児童委員が各世帯を訪問します。また、調査結果にもとづいて災害時要援護者マップを作成、保管し、災害時の安否確認や避難支援に備えます。